新約
魔法少女
PUELLA MAGI
ORIKO
MAGICA
おりこ☆マギカ
1
漫画
ムラ黒江
PUELLA MAGI ORIKO MAGICA
Volume One
芳文社

NEW TESTAMENT
PUELLA MAGI ORIKO MAGICA
sadness prayer
MANGA TIME K.R. COMICS
[新約]魔法少女おりこ☆マギカ sadness prayer
1
芳文社

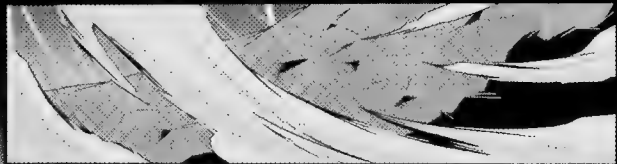
[新約]魔法少女おりこ☆マギカ sadness prayer
原案＝Magica Quartet　漫画＝ムラ黒江
PUELLA MAGI ORIKO MAGICA sadness prayer
MANGA TIME KR COMICS
1

わたしは
何のために
居るのだろう
何をする
ために…
……
もう…
解らなく
なって
しまった
ヒュオォ…
織莉子(おりこ)
君は
どんな願いで
ソウルジェムを
輝かせるんだい？
ギュ
わたしは
わたしが生きる意味を
知りたい

第1話
それが本当に正しいのか？

!
今日も何やら騒がしそうね…
…ところで
ぱたん
この魔法自制できないのかしら…
無駄に魔力を食うし煩わしいし
…ハァ

キュゥべえ
貴方 学校にまでついてくるの？
織莉子
君はどうも魔女探しに消極的だからね
監視されなくても最低限は狩っているわ
ちょこん
普通魔法少女になりたての頃は魔女探しに熱心だよ
願いが叶ったという幸福感は君達にとって大きな原動力になると思うんだけどね
……

それとも
君の願いに
何らかの不備が
あったのかい？
いいえ
叶っているわ
わたしの道は
指示されている

ねえ
今の見た？
あの人一人で
ブツブツ喋って
なかった？
気持ち悪っ！
美国織莉子も
落ちぶれたものよね
ちょっと前まで
お姫様扱いだった
のに
だって
父親が汚職で自殺！
犯罪者の娘よ――〜
良家組の恥だわ
よく学校に
来れるわよね
私だったら
恥ずかしくて
生きてられないわ〜
じゃあ
死になさいよ
はあ？
ザッ

なによ浅古さん
あっあなただって色々言ってるじゃない！
陰口叩いて笑ってるなんて
良家のお嬢様も知れたモノね！
私はいいの
美国に面と向かって言ってるんだから
偉そうに…
成金組のくせにね…
うっさいわ！私より優秀になってから文句言え！
小巻ちゃんどうどう
すみませんねーすーぐ怒るもんで

なぁーにが
「良家組」
「成金組」よ
勝手に学校内に
カースト作ってん
じゃないわよ！

良家組の子達
うちらのこと
見下してるしね
腹は立つけど
まあいいじゃん
気にしない
気にしない
よくないっ！
ガるるる…！
ねぇ
小巻ちゃん

なんで
美国さんに
構うの？

…だって
あいつ
むかつくし…
ないない
あの人
やなこと
言わない
じゃん
私は
むかつくのっ！
なんじゃ
そら

美国織莉子
見滝原市議
美国久臣(ひさおみ)の娘

成績優秀
眉目秀麗
人望厚く
学校中の羨望を
集めていた女

美国久臣
市議会議員が
自宅で首を
吊っているのが
発見されました

美国氏は
一連の
汚職疑惑
に……

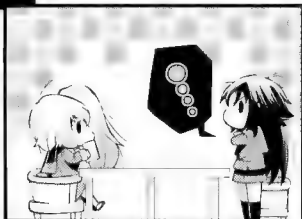
むかつくー!!

キ〜〜

あ ごめん

わかったよ
じゃあまた後でね
たーっ
小巻さん
…何の用かしら
ドズンッ
ふおっ

なんで
雑魚共に
言いたい放題
言わせてるのよ
貴女がそれを
言うの？
貴女が先頭に立って
やってることだと
思っていたけれど
はぁ!?
ッ
私が良家組の
雑魚なんかと
慣れあうわけ
ないでしょ！
私は私！
「浅古小巻」が
アンタに
喧嘩売ってんの！
そっ
それに！
美国 アンタ
なんで私のこと
下の名前で呼ぶのよ

「小巻って
呼んでください」って
だって
貴女一年の時
自己紹介で
言ったでしょう
ドアッ
アンタ
冷淡なくせに
ヘンなとこ
気が付くのね

貴女は不格好だけど
真っ直ぐな人ね

ぱたん

イチイチ
むかつくわね

とにかく！

いつまでも
落ち込んでないで
とっとと
前のアンタに
戻りなさいよ

私は
売ってるの
ケンカ

サンドバッグ
叩きたいわけ
じゃない！

もし…
貴女の目標が
貴女のその
真っ直ぐな信念を
傷つけるもので
あったら
それでも
前に進める
かしら？
!?
……
ごめんなさい
忘れて
ちょうだい

なんで小巻さんにあんなことを話してしまったんだろう…
でもそれは…
わたしが生きる意味を知りたい
確かに願いは叶った
わたしの予知は指示された行く道

ズズズ
絶望の未来

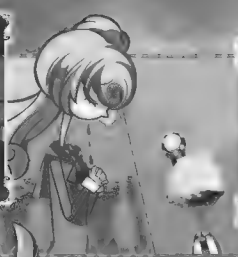
一目見て理解した
これには
誰も
勝てない
世界は
終わる
だが
手段は
ある
あの魔女が
生まれなければ
いい

生まれないように
すればいい
一人と
その他すべての
人々の命
比べるまでも
ない
わたしの道は
示された
だがわたしは
揺れている
それが
本当に正しいのか？

ううん
道はあるよ
全部捨てて
逃げちゃお!
ケケ
ケケ
はっ!?

魔女結界？
魔法少女が魔女につけ込まれるなんてとんだ失態ね
！
きゃ!?
こっ
これは？
何か…
来る！

う

らああ
あっ！

ドドー
うっ
!
…っ
えっ!?
小巻さん?

美国織莉子が
魔法少女の
運命と
引き換えに
願ったのは
偉大な父の
移し身としてしか
見られなかった
彼女自身の
生まれた
意味を
知ること
そして
その答えは
世界を
救うために
一人の少女を
探し出し
殺すこと
だった

第2話
あの
少女には
出会えない

バカでしょ？
さては アンタ
バカでしょ!!

私がたまたま
通りかかって
なかったら
どうなってたと
思ってんの!?

このバカ！

だいたい
そんな景気悪い
顔してるから
絡まれるのよ

バカ
じゃないの

ホント
バカ！

一生分のバカを
言われている
気がするわ…！

あいつらは
魔女っていって

人間に災いを
ふりまくって
理不尽で
めーわくな
奴らよ

美国
アンタ死ぬトコ
だったのよ！

それで
私は……

魔法…

し…

わぁ。。。

し…

魔法少女だよ
小巻
君はいつも
そこで詰まるね
何故なんだい？
うるさい！
中三にもなって
魔法少女なんて
名乗るのは
恥ずかしいのよ
ふぅん
魔法少女？
べ 別に好きで
やってるワケじゃ
ないわよ！
あせ
願い事叶えて
もらったから
仕方なく
やってるの！

願い事？
何を叶えたの？
別に大したことじゃないわよ！
あ
美国！アンタ魔法少女になろうって気じゃないでしょうね！
甘く見てるんじゃないわよ
魔女と戦うのは命がけだし
魔法少女同士でもケンカふっかけてくるやつもいるっていうんだからね

小巻

少し落ち着きなよ

あーそっかー なれっこないかー

アンタキュゥべえのこと

見えてないみたいだし

じゃ 私 行くわ

アンタと違って忙しいし！

美国！

アンタ 学校
来なくていいわよ

アンタがいると
雑魚がごちゃごちゃ
うるさいし

アンタの顔なんか
見たくもないしね

ありがとう

でも家に引きこもるより
学校に居た方が
気が楽なの

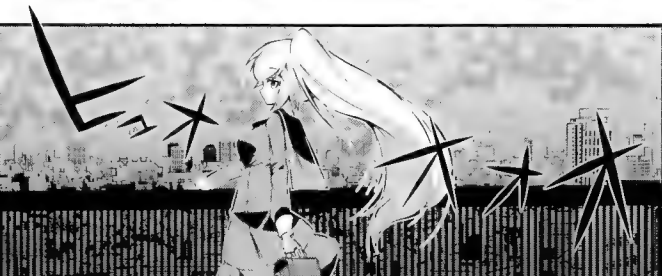
ふん

あっそ

ぴたっ

クラスの
連中には
内緒に
しなさいよ!

わかったわ

やあ
織莉子

小巻さんについていかなくていいの?

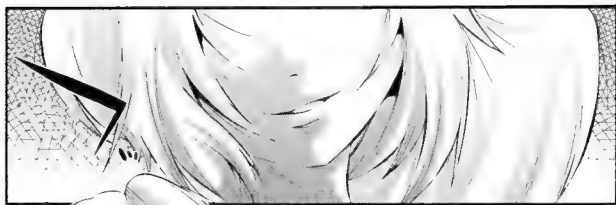
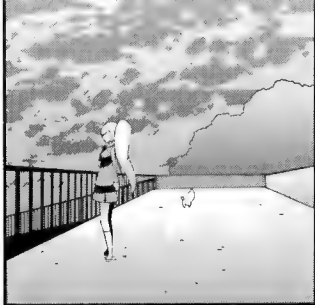
問題ないよ

小巻は君と違って魔女退治に熱心だからね

なぜ君が小巻に自分が魔法少女だと知られたくないのかは解らないけど

君なりの考えがあるんだろう

このあいだ
君が
言っていた
魔法少女候補を
見てきたよ
少し幼すぎる
気もしたけれど
素質は十分の
ようだ
前例もないわけ
じゃないしね
もう少し
様子を見てから
声をかけてみるよ
そう
貴方の望む
結果が出ると
いいわね
そうだね
感謝するよ
織莉子
キュゥべえ
わたしこそ
貴方に感謝
しているのよ
願いを叶えて
くれたことも
もちろんだけど
人間の力及ばぬ
理不尽な災い
「魔女」という
存在を教え
そして
それを倒す
力をくれた

魔女に苦しめられる
この世界を救う
これが
わたしの
今ただ一つの目標
今はまだ
この魔法に
戸惑ってはいるけれど
いつか貴方の
期待にも
応えられる
はずよ
見守っていてね
キュゥべえ
……
そう
よかったよ
君がやる気のない
わけではないことが
解って
もちろんよ
わたしの
選んだ道
ですもの

キュゥべえ
せいぜい
無駄な努力を
してちょうだい

千歳ゆまに関わっているうちは

キュウべえは「あの少女」には出会えない

!
魔女の気配…！
ああ本当に理不尽で迷惑だわ

ドドォッ
ゴッ

オラクルレイ

ふう…
ギリギリね
もう少し
魔力を使っていたら
危なかったわ
誰!?

キミ・・・

白くてヒラヒラだねぇ……

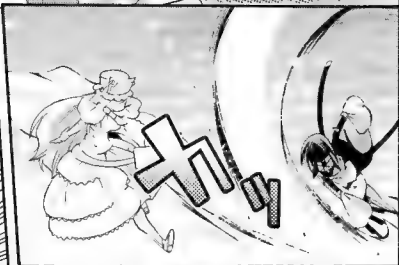
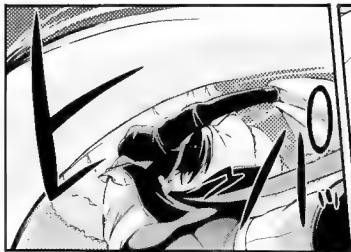
蝶々みたいだね
ふふふっ
ふふっ
月夜に蝶狩りなんて
楽しいね素敵だね
遊ぼ?

アンタ魔法少女になろうって気じゃないでしょうね！
魔法少女同士でもケンカふっかけてくるやつもいるっていうんだからね
ヵッ
ス

第3話
ただの
やつあたり
だよ

貴女
何なの？
何故
こんなことを
するの⁉

ガッ
ぐっ
ドッ
キッ
お

とっとと-!
ザザザ
ザザザ
クツに
なんか入った-!
なっ

ん〜〜〜〜
おっかしいなー
鈍くさいくせに
なかなか
当たらないや
っっ…
予知で
先読みして
いるのに…
避けきれない
こちらの攻撃も
当たらない
彼女の魔法は
ただの「速さ」
ではないわ
グリーフシードは
一回は使えそう
だけど
決定打がない限り
魔力を削られて
詰み…

いつまで埋まってるつもりだい？
そろそろ飽きてきたよ
あー
そういえばなんか言ってたね
「なんでこんなことするのか」って
私の願い事さ
当然叶ったんだけど
ひとつ困ったことがあってね
なんでそれを願ったのか
覚えてないんだよ

ぎぎぎ
キュゥべえは
私の願いの副作用が
どーのこーの言ってた
結講辛いん
だよね
目的が
わからないってさ
ただの
やつあたり
だよ
見ず知らずの
キミには関係のない
ことだけど
魔法少女同士
私のこのもやもやを
受け止めておくれよ
うん
むー…

ムダだよっ！

うわっ暗っまっくら!
バババ
あっあっ
あ〜〜!あの球!
照明壊したな!
いたッ
ゴッ
ドスッ
うあ……ッ

どこだッ
どこから狙ってる!?
じわじわなぶり殺すつもりかッ
こ…
ザシャ

このぉ!
ヲくン…
なんで
向こうも
見えないはずなのに
私の位置が
わかるんだ!?
魔法なのか?
魔法…!
魔力!
ポロッ

球のカケラが
魔力を出して
私の位置を
教えてたのか
ザッ
ザザッ
ザッ

ギギィィィィ…

あっ！
ギ…

ダ
ッ

どこ行った
あの
ちょうちょ女!
めっちゃ
めちゃめちゃ
泣かしてやる!
80……79…
78…
ババッ
うわっ
なんだここ
けふっ
けふけふっ
倉庫?
ほこりっぽ!

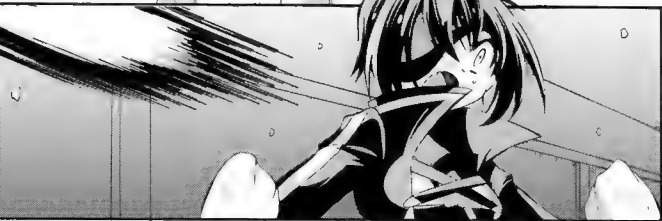
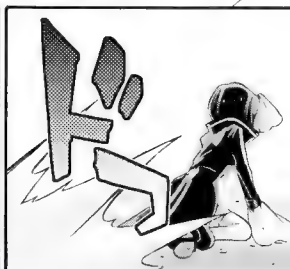
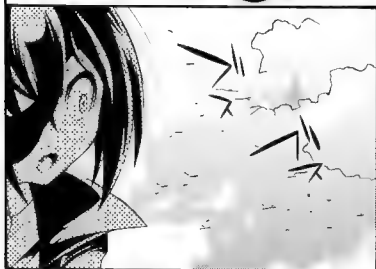
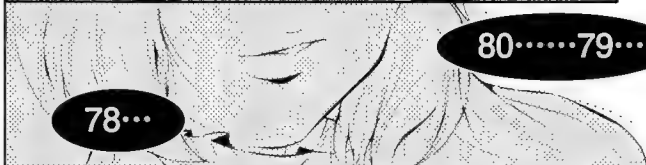
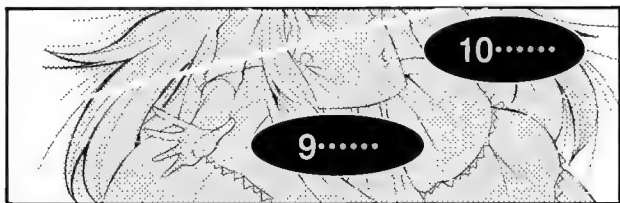
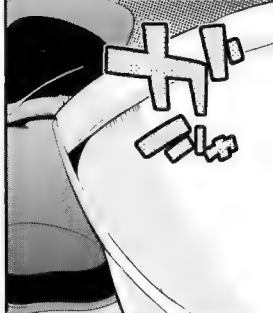
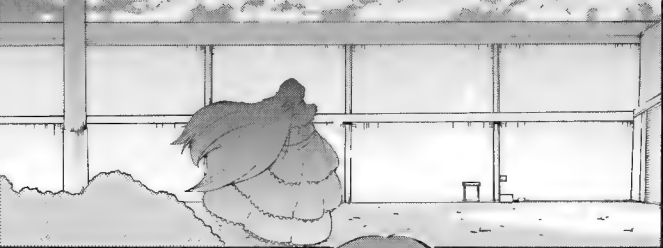
20…
19…
…18

ギュッ
どしゃ！
あふん
10……
9……
いてて…
ん？

22:36
05
ケータイ？
なんでこんなところに？

ゼロ

ドッ
ドァァッ

ドサッ
おぶっ

特定の人物の
予知を引き出すのは
魔力を膨大に使う
賭けだったけれど
賭けに
勝ったようね
貴女は素速いけど
あくまで視覚に
頼ったもので
見えない攻撃には
対応出来ない
ならば
答えは
死角からの
一斉攻撃
な・・・
なんで外から
私の位置が
解ったんだよ…
球のカケラは
捨てたのに……

欠片(あのやり方)では
大まかな位置しか
探れないから
やり方を変えたのよ
貴女の回避能力を
殺すため
狭くて足場の悪い
倉庫に誘導し
壁越しの攻撃で
死角を作った
貴女の位置と
到着する
タイミングは
「わかって
いたの」

わたしが
引き出した
予知は
「わたしが置いた
携帯電話の時計を
貴女が見た」ことよ

はっ!

くそっ…予知魔法だって!?
こんな所で死ぬなんてね…

?
死ぬ? 何故?
わたしは貴女に傷ひとつつけていないのに
きょとん

?
ひとのお腹の中グチャグチャにしといて何言ってんの?

それより「死ぬ」なんて思わない方がいいわ
本当に死んでしまうわよ?

魔法少女は肉の檻から切り離された存在
魂が輝けば
朽ちることはないの
あんた…何言ってんの……？
あんたなんなのさ…
わたしは美国織莉子

貴女に
魔法少女の秘密を教えてあげる
だから貴女は
わたしの駒になりなさい
ザッ

やあ久臣
ひさしぶり
だなぁ
仕事は上手く
いってるのか？
あ…うん
順調だよ
あらっ
織莉子ちゃん
大きくなったわねー
織莉子
どうしたの？
おじさまと
おばさまに
御挨拶
しましょ？
ごめん 織莉子は
実家来るのは初めてで
緊張してるみたいだ
あらぁー
照れ屋さんねぇ
美国本家
わたしは
ここが
嫌い
だった

祖父は
財務省の大臣で
党の党首を
務めたこともある大人物
父の
姉兄達もまた
国政を支える
議員になった
おとうさま
おとうさま!
おうちに
帰ろう
わたし
ここはいや
織莉子が
わがまま
言うなんて
珍しいね
かえるの!
お父様を
困らせては
だめよ
あの人達の目は
父とは違う
あの
驕慢さ 冷徹さを
孕んだ目に
優しい両親が
殺されてしまう
幼いわたしは
そう思ったのだ

4
そのために
今のわたしは
ある

貴女はいままで通り
魔法少女に
ちょっかいを
出していて

それと
グリーフシードを
大量に調達して
ちょうだい

※キリカさんの脳内イメージです

あいつ イマイチ信じらんないんだよなー
確かに私は死ななかったけどさ
ジェムが濁りきると魔女になるって
中に魔女の素でも入ってんの？
魔女は狩らなくていいの
おまけに人のことこき使うくせに自分の目的は教えてくんないし
ん〜〜〜〜〜
もしかして私だまされてる？

目の前に立たれるとすっごいジャマなんだけど
どいてくれない？
浅古さんあなた最近調子に乗りすぎじゃない？
少しお勉強が出来るからって偉ぶるの小学生みたいよ？
ふーん小学生に負けるなんてダッサイわね
学年三位さん

アンタ すごい
やらしい顔してるよ
協会だか知らないけど
自分のモノじゃないモノで
着飾るのはやめなさいよ

中身が余計に
腐って見えるから

……!
メッキは
いつか
剥がれるもの

その時に
愍然(びんぜん)たる自らに
気付くでしょう

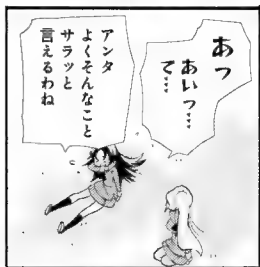
わたしを見ていて解らなかったの？

あわわ…

貴女も大変ね

フン
あんな雑魚
どーでも
いいわよ

小巻さんは
いつも怒っている
ようだけど

さっきの
ようなのは
初めて見たわ

わたしは愛していたわ

弁護士だった父が議員になると言った

おとうさま……

どうしたんだ
織莉子
眠れない
のかい？
おとうさま！
おとうさまも…
おじさんや
おばさんみたいに
なっちゃうの？

ふふっ
それは少し違うかな
おじさん達はこの国そのものを動かしていく人達だけれども
私はこの街を良くしていきたいんだ
世間知らずだった私達に
地域の人達はとてもよくしてくれたからね
私も
この町のために何かしたいと思ったんだ
まあゆくゆくは国政に打って出るのもいいかもしれないね！
うふふ
久臣さんは天上人よりお地蔵さんのが合ってると思うわよ
由良子は時々ちくりと刺すね…

父は変わったり
しない
ずっと
ずっと優しい
わたしの
おとうさま
くに
み…
みー
くー
にいー

なに
呆けてんのよ

自分の世界入りすぎ

あーもう
こんな時間か
とっとと
帰りなさいよ

小巻さんは
パトロール？

そーよ
だるいけど
仕方ないわ

お父様のことを
考えたのは
久しぶりかも
しれない

色々なことが
ありすぎて

考える余裕なんて
なかったもの

気持ちに
ゆとりが
出来たのは
あの子の
お陰かしら

ほらっ!

キィ

ブロロロ。。。

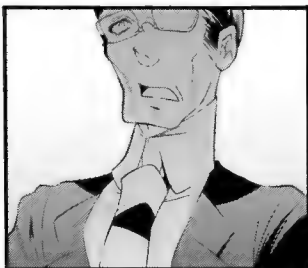
やあ
織莉子ちゃん

見滝原に用事があってね
こんな偶然もあるものだね
……公秀おじさまお久しぶりです

最後に会ったのはいつだったか
見違えたなぁ

母の葬儀の時ですから八年程でしょうか

よく気安くわたしに話しかけられるものだ

美国公秀
衆議院議員
お父様の事件の際
実弟の愚行を
涙ながらに詫び
世間は彼に
同情的感情を
寄せた
しかし彼は
事件直後
わたしからの
連絡をすべて
シャットアウトし
身内でひっそりと
行われた葬儀にも
姿を現さなかった
久臣
オマエは政界には
出てこないのか？
はは…
公秀兄さん
みたいには
いかないよ…
この男は
誰よりも早く
父を
切り捨てたのだ

ギリ…
？
おじさま？
あ
いや
なんでもない
最近ぼうっと
することが
あってね

年かな
ではまた
織莉子ちゃん
……！
待って！
おじさま！
魔女の
くちづけ…！
ん？

なんだね？
あの目だ
わたしの
恐れた
美国の目

いえ・・・
なんでも・・・ありません
そうだ わたしが この男を 助けて遣る 道理など ないのだ
お父様を 見捨てた 人間を わたしが 見捨てても…

中学生に
何するつもりだ
エロオヤジ！
ぐるぐる
巻きにして
川に流すぞ！

最近のエロオヤジは
なってないな！
キリカ…
その人
わたしの
伯父よ…

たたたいほ？
ねえ逮捕？

うきゃあああん

うわー
どうしよう

牢屋じゃ
買い食いも
できないよ！

ふふふっ

ふっ

なに笑ってんの！
落ち着いて
キリカ
その人の首筋見て
ごらんなさい
あ
解ったら
早急に魔女を
倒してきて
ちょうだい
おじさまには
わたしが上手く
言っておくから
安心していいわよ
わたしに
貸しがひとつ
出来たわね
ペコ
ペコ
ペコ
……
なんか私
だまされて
ない？
だまして
ないわ！

小さな感情に囚われて
くそー、モテてくる!
本質を見失うところだった
伯父も
世界の一部なのだから
わたしは世界を救う
そのために今のわたしはある
「小さなわたし」は捨ててしまうべきだ

晶(あきら)さーん
こんにちは
おー 小糸(こいと)っち
オッス オッス
5
魔法少女 ってのも やってやるわ
今日は お姉ちゃんと 一緒じゃない んですね
あたしゃ 小巻の オプションか
あっ！ 違うんです すみません！
……あの お時間 ありますか？
ん？ どした？

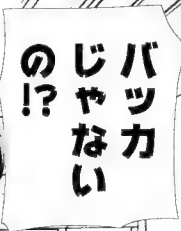
小巻が夜遊びィ？
ピンとこないなありえなくない？
私もまだ信じられないんですが…
こっそり夜出掛けてるみたいなんです
ガチャ
心配です…
心配ですし…あと…またトラブル起こしてるんじゃないかと思うと
胃が痛いです
小糸っち苦労してるねー
よし
じゃ調べてみよか
えっ

おはよー
おはよ
オッスオース
小巻ちゃん
また何か
したの？
してない
わよっ！
びしびし

バッカじゃないの!?

ズキズキ

うん
異常なし

いつも通りだし
しかし客観的に見るとひどいな小巻は
うーん
調べる？

また抜け出したら
連絡してよ

ウチの親
今 海外行ってるから
夜間外出よゆーだし

晶さんに
そこまでして
もらうのは
悪いですっ

いいよー
やるよー

ま
名探偵
行方晶に
お任せあれー

なんちて

晶
なにボケっとしてんのよ
早く帰るわよ

ねえ 駅前に新しいカフェができたんだよ！行こうよ
美幸は甘いモノ好きだなー
ぷよるぞー

私はパス
小巻 ダイエットか？

行くわよ！ケーキ如きが私を丸くできると思ってんの？
簡単だな…
そしてお前は何と戦ってるんだ

結局何も無し…

ふ～ん…

今日のアンタ
変よ

具合悪いなら
はっきり
言いなさい

余計な心配
かけんじゃないわよ
バカ

いや～
バレちゃった？

実は
朝飲んだ
牛乳が期限
切れてたん
だよねー

なにしてんの
バカ！

あららら

美幸！
晶んちまで
送るわよ

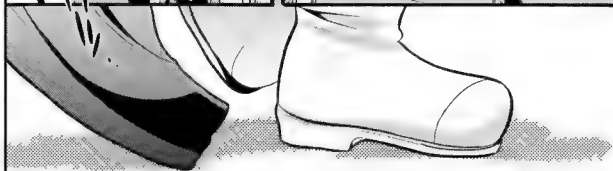
はーい

えーいーよ
いーよ

アンタは黙って
言うこと聞く！

ウソとは言えない…
鞄よこしなさいよ
マジでーやったー
やっぱ小糸っちの勘違いじゃないかなー
小巻はそんな奴じゃないもの
え…
なんで…
うう…
全員いるか？班長点呼！ケガをしている者は…
あんたが助けてくれたの？
廊下に寝てて邪魔だったからどかしただけよ

ふん！
げ

うわ 美国さんだよ
また小巻が絡みだすぞー

いやいやいや
例えあたしと
美幸が全身骨折
してたって
絡むって！
晶ちゃん…
それはちょっと
小巻ちゃんに
悪いかな？
小巻ちゃんも
ようやく大人に
なったんだよ～
えー
私の魔法少女姿を
知っているヤツに
なるべく関わらない
ようにすべし！

小巻が大人…？
いやいやないっしょ！
あのファイナルガキ大将が
普段の様子も変わりなかったたし
美国さんに対してだけ変わった？
美国さん…
夜遊び…
うーん…

これが広まったら
大変なことに
なるわね…

お許しください
何でもしますから
それだけは！

夜の女王になって
わたしに
貢ぐのよ！
小巻さん！

はいっ
私 ナンバー1に
なりますっ！

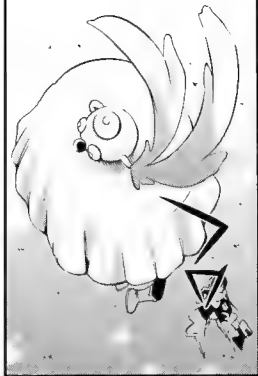
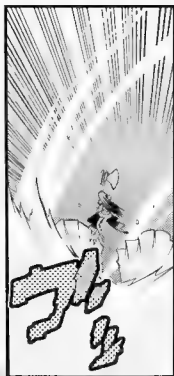
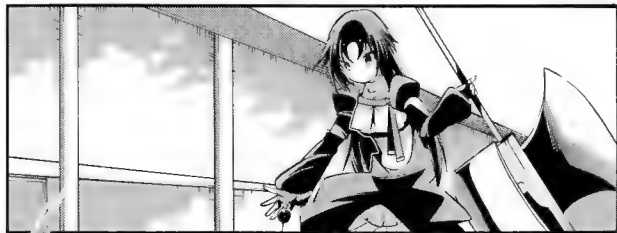
妄想が暴走
した…

早く帰って
数学の予習やらなきゃ
いけないってのに

コラぁーーッ

降りてきなさい
よ―――ッ!!

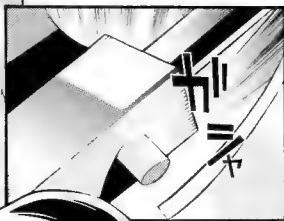
魔女の分際でバカにしてるの？
まあ
もう終わりだけど
ドン

ドンドン
もう逃げられないわよ!!
ズダッ
ドキャ

はぁ…
やっと終わった
魔女はゴキブリみたいに
次々湧いてくるし
格好は恥ずかしいし
ホント最悪!
ま
やるけど!
やるわよ!
私が決めた
ことだもの
浅古小巻
君は
標準的な人間とは
少し判断が
違うようだね
なんでよ

魔法少女ってのもやってやるわ

誰!?
あれ?
結界消えてる
魔女じゃなくて魔法少女か
まいっか

第6話 一回くらいは頑張ってあげようかな

また
お姉ちゃんが
出掛けて…
いやいや
小糸っち
これは
夜遊びなんか
じゃないって
これは…
なん
だろね

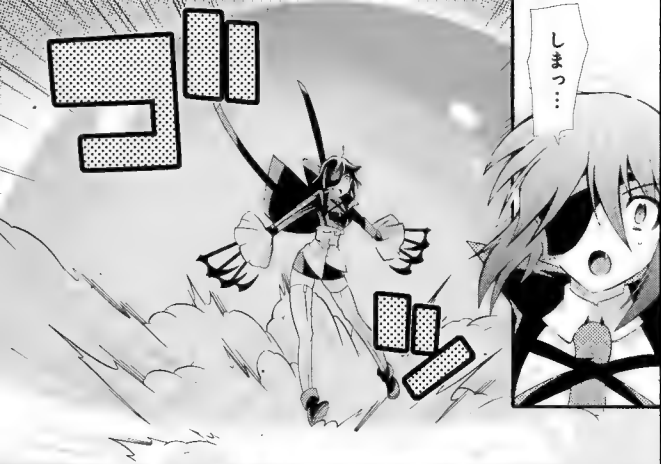
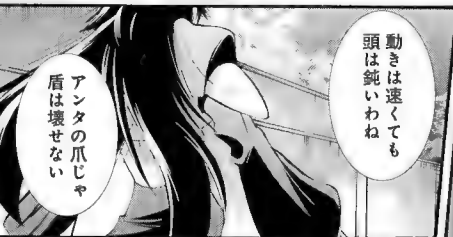
鈍くさいなぁ
こんな鈍い魔法少女
初めて見たよ
困ったな
盾に弾かれて
攻撃が届かない
もの凄い速さね
とても
避けきれないわ
そんな
ペラッペラの刃じゃ
私には勝てないわよ
ちょっと脅かして
グリーフシードを
もらうだけの
つもりだったけど
本気で
いかないと
まずい

無駄よ！この黒カマキリ！
くそっ
あと そのあだ名やめてよ ダサい！
ふん お似合いよ

見つけた
早く
すぐに
消してしまわなければいけない

あ…
あ…
さよなら

夢…？
ハッ
違う
あれは予知だ
一瞬で
頭を撃ち
抜かれた
何故？
彼女は
普通の学生に
見えた
とても
銃を持った護衛が
いる身分とは
思えない
わたしが
狙い…？
違うわね
わたしの評価は
ただの「汚職議員の娘」
銃を手に入れてまで
殺したいと思うほど
憎まれる覚えもないわ

なら何故…
あの少女を
人を殺してまで
守るのか
まさか…
「あれ」を
知っている者が
わたしの他に居る？
……
だとすれば

わたしの
殺す人間は
二人になった
ひゃっ
110番!
110番!

ドカッ
うひっ
警察ってもこれ何て説明すればいいのさ？
あーもーどうしよー
終わりにするよ！
はいもしもし
けっ
けっけーさつ！ですか？

え？
警察？
うわ～
あたしよ なんで 小糸っちに かけた！
何かあったんですか？晶さん！
！

しまっ…
ゴ
くそっ 閉じ込められた！
動きは速くても 頭は鈍いわね
アンタの爪じゃ 盾は壊せない
盾（結界）ごと粉々に してやるわ！

いやいや
何でもないよ
ほんと
何でも…
キャアア
アアア!

なんだこれ
なんだよ これは！
超能力？ 魔法？
そんな アホな
私 夢見てんの かな…

うう…

あーあ
あたし
死ぬのかな

ニュースとか
出るのかな

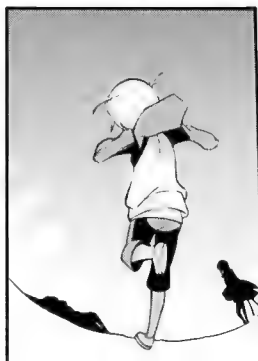
名門中学の
林間学校で火災
生徒数名が死亡！
とか

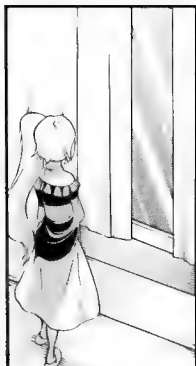
まー
どーでも
いいか

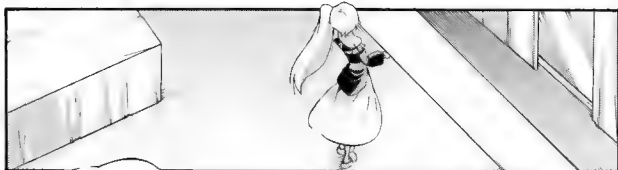
え？ なに
頑張っちゃ
ってんの？
ムリだって
あきらめた方が
ラクだって
仕方
ないなー

キミ
厄介だね
動けないように
しとくよ

仕方ないなぁ
仕方ないから一回くらいは小巻(あんた)のために
頑張ってあげようかな
小巻!
晶…?

えっ
え？
えっえっ？
ほ
ほんと？
し
死んじゃったの………？

第7話
罪の重さに
潰れて
しまわない
ように

おとうさま
これ
わたしも
読みたい
う〜ん
織莉子には
少し早いかなぁ
いいの！
読むの！
登場人物の名前
覚えられる？
だいじょぶ！
ろっ
ロジオン
ロマーヌイチ…
ラスコーリ
ニコフ

スプレーの汚れって本当に落ち辛いのよね
困るわ…
ただのイタズラよ
貴女を探しにきたわけじゃないわ
キリカ
何があったかは解らないけど
出来れば話して欲しいわね

……
どこ行くの？
食事の支度よ
おなか空いたでしょう？

ほんとに？
どこにも行かない？
私をひとりにしない？
ええ　本当よ　すぐ済ませるわ
困った子ね…
キリカのあの様子じゃ今日は学校にも行けなさそうね
あまり普段と違う行動をして目立ちたくはないのだけれど…

小巻さんに
怪しまれると
厄介だもの
休みたるんでるわよっ!!
わたしが魔法少女だと
知られてはいけない
彼女は
わたしのやろうと
していることを
許しはしないだろう
貴女は
不格好だけど
真っ直ぐな人ね
……いや
それが
普通
なの
だろう

織莉子？

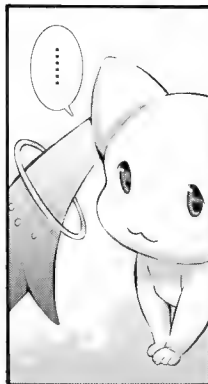
あっ

あそこにっ

人が！女の子が立ってる！

あ…ああ…
うん…
やあ
珍しいね

君が魔女を探してるなんてね
久しく姿を見なかったけれど
またわたしの魔法少女としての在り様に不満でも？
心外ね キュゥべえ これがわたし達の役目でしょう
そうだね 出来ればもっと積極的になってもらいたいね
ピョ
今まさに積極的な活動をしているところじゃないの
今日ボクが来たのはそのことではないけどね

魔法少女が殺されたんだ

一般人も巻き込まれたらしい
そう…それは可哀そうに

でもそれは貴方にとってそれほどの大事かしら
わたし達の戦いはいつも命がけなのよ

……

そうだね
しかし君達がいたずらに危機に曝されるのはボクにとっても良くないことだ
かなりの敵のようだ
織莉子君も気を付けて

気を付けるわ
ありがとうキュゥべえ
ああ…なるほど
キリカは人を殺めたのか
おかあさま
なんで主人公は怖がっているの？

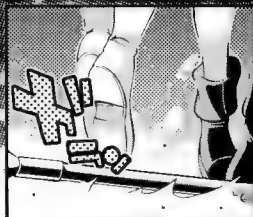
罪と罰!?
へ
久臣さん
子供に読ませる
本じゃないわ…!
おばあさんを
殺したくて
そのとおりに
したのに
どうして
こんなに
おびえて
いるの?
人が死ぬ
まして
殺すなんてことは
とても辛くて
重いことよ
この主人公は
それを軽く考えて
いたの
だから実際の
「死の重さ」に
耐えられ
なかったのかも
しれないわね
たやすく人に
「死ね」とか「殺す」とか
言ってはいけない
とても重い物が
軽く見えてしまうから

キリカは
死を軽く口に
出す子だった
けれど
今まで本当に
殺したことは
なかった
殺して心が
潰れてしまう
ならば
わたしの駒には
「使えない」

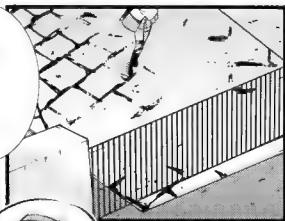
よくも晶を殺したなああッ!
ダッ
あ
ああっ
うわああああああ

やあぁっ

ドサッ
ガチ
ガチ

織莉子…？
どこ…
織莉子…

あれ
おかしいな

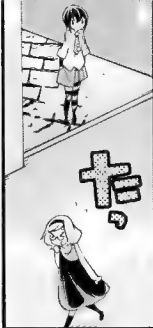
誰もいないのかな…

誰…？

わっ私
織莉子さんの
同級生の
長月美幸です

今日お休みした
分のプリント
持ってきました

妹さん
…かな？

しっ
失礼します
お大事にと
お伝えください
たっ
ヘンなの…
ぺたぺた
キリカ
キリカ
起きてる？
やっと倒せた
やはり
わたし一人では
魔女退治の
効率が
悪すぎる
グリーフシードの
蓄えも
すぐ底をついて
しまうわ

どうにかして
キリカを
戦わせないと
いけないいわ
ひッ
キリカ
どうしたの？
また
幻でも
見たの？
おっ
おりっ
おりこ…！
キリカ？

心を硬くしなければならない

浅古小巻さん
行方晶さんの
[illegible]儀告別式について

罪の重さに潰れてしまわないように

見滝原は相変わらずエキサイティングですねぇ
魔法少女殺しの魔法少女か
そいつを手懐けたら
掃除も捗りそうですねぇ
くふっ
うふふふ

《初出一覧》
・まんがタイムきらら☆マギカvol.10〜16
・描き下ろし
本書は以上の内容を収録いたしました。

［新約］魔法少女おりこ☆マギカ
sadness prayer　第1巻

原案：Magica Quartet　漫画：ムラ黒江

電子版発行日：2015年10月15日
発行人：東　敬彰
発行所：株式会社芳文社
東京都文京区後楽1-2-12